

時事用語集

台風15号による大きな被害

2019年9月5日に発生した台風15号は、小笠原近海を進みながら徐々に発達し、8日には神津島付近で再発達し非常に強い勢力を保ちながら、9日に関東を通過した。台風が非常に強い勢力を保ったまま関東に接近することは珍しく、千葉市付近に上陸するときは強い勢力であり、これまで関東に上陸した台風の中でもかなり強いものであった。この台風によって関東の広域で被害が出たが、その中でも特に千葉県に甚大な被害を及ぼした。交通網への影響によって、成田空港は一時「陸の孤島」となり、1.4万人が足止めされた。また、家屋の倒壊や最大64万戸の大規模停電、断水などが発生し、生活が困難になるほどの被害を千葉県の広範囲で及ぼした。

韓国をホワイト国から除外へ

2019年8月28日に、政府は輸出管理で優遇措置を与える「ホワイト国(優遇対象国)」から韓国を除外する決定をした。政府は、貿易相手国を安全保障上の輸出管理の安全性の度合いによってAからDの4段階に分けているが、この決定によって韓国は最も信頼度の高いAからBに格下げされることになった。

第161回芥川賞・直木賞

2019年7月17日、「第161回芥川賞」および「第161回直木賞」が発表された。芥川賞は今村夏子氏の「むらさきのスカートの女」、直木賞は大島真寿美氏の「渦 妹背山婦女庭訓魂結び」がそれぞれ受賞した。

世界水泳2019

2019年7月12日から28日にかけて、韓国で世界水泳選手権2019が開催された。日本は、金メダル2つを含むメダル6つを獲得した。

香港での大規模デモ

2019年6月ごろから、逃亡犯条例改正案に反対する大規模デモが起こっていた。この改正案は、刑事事件の容疑者を中国本土に引き渡すことができるようになるという内容である。逃亡犯条例改正案をきっかけに起こったデモであったが、その後、広く民主化を求める運動に発展した。これに対して香港政府は、2019年9月4日に、逃亡犯条例改正案の正式な撤回を発表した。

G20大阪サミット開催

日本での開催が初となる2019年G20サミット首脳会議が6月28

日、29日にインテックス大阪で開催された。G20サミットとは国の首脳や国際機関が参加して、主に経済分野について話し合う国際会議であり、2019年は日本が議長国となり大阪で開催された。ここで採択された「大阪宣言」では、貿易や投資についての今後の方向性が盛り込まれている。また、各国の首脳らを歓迎するためのおもてなしも注目をあびた。

消費税が8%から10%へ

2019年6月21日の臨時閣議で、消費税率について2019年10月1日より8%から10%に引き上げることを決定した。これは少子高齢化によって、年金などの社会保障財源をより拡大する必要があるためである。しかし、一部のものについては、消費税を8%のままとする軽減税率が導入される。

新潟県での地震

2019年6月18日、山形県沖を震源とする地震があり、新潟県村上市では震度6強を観測した。一時的な停電による新幹線の運転見合わせや、数人のけが人などの被害があった。

新天皇即位

2019年5月1日、皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位された。1989年から30年余り続いた「平成」が終わり、「令和」に改元された。政府による検討を重ね、2017年に一代限りの退位を認める皇室典範の特例法が成立し、江戸時代の光格天皇以来202年ぶりの天皇の譲位が行われた。

新元号「令和」発表

平成に代わる新しい元号として、2019年4月1日に行われた臨時閣議で「令和」にすることが決まり、菅官房長官が発表した。また、「令和」の出典は日本最古の歌集である万葉集である。

新紙幣のデザイン発表

紙幣は偽造防止などのため、およそ20年周期で新しいデザインに変更しているが、2019年4月9日に、新紙幣のデザインが発表された。新一万円札には、日本資本主義の父と呼ばれ、第一国立銀行を設立するなど明治時代の日本経済に貢献した、渋沢栄一が選ばれた。新五千円札には女子教育の先駆者とされ、津田塾大学を創立した津田梅子、新千円札には近代日本医学の父と評される北里柴三郎が選ばれた。また、五百円玉のデザインも同時に変わる事となる。

第19回統一地方選挙

都道府県および政令指定都市の首長(知事)と議員を選ぶための選挙が2019年4月7日に、市区町村の首長と議員を選ぶための選挙が4月21日に行われた。この日程は通常よりも1週間早い。これは退位特例法によって天皇(上皇明仁)が4月30日に退位することを受けて、前倒しとなったからである。

世界卓球2019

4月21日から28日にかけてハンガリーで世界卓球2019が行われ、日本は銀メダル2つと銅メダル1つの計3つのメダルを獲得した。

イチロー現役引退発表

アメリカ大リーグ、マリナーズのイチロー外野手が、2019年3月21日に東京ドームで行われたアスレチックスとの開幕シリーズ第2戦後に記者会見を行い、現役引退を発表した。オリックスに入団し、日本プロ野球史上初のシーズン200安打を達成し、その後7年連続の首位打者に輝いた。マリナーズに移籍した2001年からも大きく活躍をし、2004年には大リーグのシーズン最多安打記録を更新した。2012年にはヤンキースへ移籍し、2015年からマーリンズでプレーをしたのち、2018年にマリナーズに復帰した。

北海道での地震

2019年2月21日に北海道胆振地方中東部を震源とする地震が起きた。厚真町では最大震度6弱を観測した。この地震による大きな被害は見られなかった。気象庁は、この地震を2018年9月6日に起こった震度7を観測した北海道胆振東部地震と一連の活動であるとした。

四大陸フィギュアで日本勢大活躍

2019年2月4日から10日にかけて、2019年四大陸フィギュアスケート選手権がアメリカで行われた。男子シングルでは宇野昌磨が1位に、女子シングルでは紀平梨花が1位に輝いた。女子では三原舞依も3位となり、計3つのメダルを獲得した。

大坂なおみ、全豪テニス制覇

2019年1月26日にメルボルンで行われたテニス・全豪オープン女子シングルス決勝において、大坂なおみ選手がペトラ・クビトバ選手を撃破し、初優勝を飾った。世界ランキング4位であった大坂選手は、2018年の全米オープンに続く4大会で2連勝をおさめ、大会後に日本勢初

の世界ランキング1位となることが決まった。

第160回芥川賞・直木賞

2019年1月16日、「第160回芥川賞」および「第160回直木賞」が発表された。芥川賞は上田岳弘氏の「ニムロッド」と町屋良平氏の「1R1分34秒」が、直木賞は真藤順丈氏の「宝島」がそれぞれ受賞した。

吉田沙保里が現役引退を表明

2019年1月8日に、レスリング女子で五輪3連覇を果たした吉田沙保里選手が現役引退を表明し、10日に記者会見を行った。吉田氏は、2004年のアテネ五輪、2008年の北京五輪、2012年のロンドン五輪の55キロ級で五輪3連覇を達成しており、2016年のリオデジャネイロ五輪では53キロ級で銀メダルを獲得している。また、2012年には国民栄誉賞を受賞した。

国際捕鯨委員会から脱退

日本政府は、2018年12月26日にクジラの資源管理を話し合う国際機関である国際捕鯨委員会(IWC)からの脱退を表明し、翌年2019年6月30日に正式に脱退した。これにより、1988年以降中断していた商業捕鯨を7月1日から31年ぶりに再開した。

卓球で日本勢活躍

2018年12月13日から16日に韓国で行われたワールドツアーグランドファイナルにて、張本智和選手が優勝を遂げた。当時、張本選手は15歳であり、最年少での優勝となった。また、女子ダブルスでは早田ひな選手と伊藤美誠選手が優勝を遂げた。

2018年今年の漢字は「災」

2018年12月12日、公益財団法人日本漢字能力検定協会は「今年の漢字」を発表した。京都・清水寺の森清範貫主が揮毫した「今年の漢字」は「災」。この漢字が選ばれた理由は、全国的に地震や豪雨や台風などの自然災害が多く見られ、このことから国民の防災意識が高まったことや、仮想通貨流出やスポーツ界でのパワハラ問題などの事件が起こりこれらを多くの人が災いであると捉えたためである。

改正入管法が成立

2018年12月8日の参院本会議において、外国人労働者の受け入れ拡大に向けた改正出入国管理法(入管法)が採択、可決され成立した。労働人口の減少による人手不足を解消するため、政府が指定した業種で一定の能力があると認められた外国人労働者に対して、新たな在留資格である「特定技能1号」「2号」を付与することが決まった。政

府は、14業種が検討対象となり、5年間で最大約34万5千人の外国人労働者の受け入れを見込むと発表した。

2018年の新語・流行語大賞

2018年の「ユーキャン新語・流行語大賞」が同年12月3日に発表され、年間大賞に「そだねー」が選ばれた。これは平昌五輪の女子カーリングで銅メダルを獲得した日本女子チームのメンバーが試合中に交わした言葉であり、北海道独特のイントネーションで注目を集めた。大賞を除くトップ10には「eスポーツ」「(大迫)半端ないって」「おっさんずラブ」「ご飯論法」「災害級の暑さ」「スーパーボランティア」「奈良判定」「ボートと生きてんじゃねえよ!」「#MeToo」が選ばれた。

英国がEU離脱条件の正式合意

2018年11月25日、ブリュッセルにおいて、EU加盟国27カ国による首脳会議が行われた。これをもって、2017年3月に始まった英国とEUの交渉はここで終結し、英国のEU離脱条件を示した法的拘束力のある文書に合意した。具体的には、北アイルランド国境の扱いや、英国とEU市民の権利に関する取り決めなどがある。また、EU離脱後の通商や安全保障などに関する政治宣言にも合意し、将来的な方向性が示された。

2025年の大阪万博が決定

2018年11月23日にパリにて、2025年国際博覧会(万博)の開催国を決める、博覧会国際事務局総会が開かれた。その中で加盟国各国の投票が行われ、日本(大阪)が選ばれた。大規模な万博としては2005年の愛知以来で、大阪の万博は1970年以来55年ぶりの開催となる。2025年の万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、人工知能や仮想現実などが体験できる予定だ。

日産カルロス・ゴーン会長逮捕

2018年11月19日、日産自動車のカルロス・ゴーン会長が金融商品取引法違反の疑いで逮捕された。カルロス・ゴーン会長のほか、同社代表取締役グレッグ・ケリー氏も逮捕された。2人は共謀し、2011年3月期から2015年3月期までにゴーン氏が受け取った報酬について実際よりも少なく申告したとされている。また、この事件は日産の内部告発が発端となって起こった。

大谷翔平選手、最優秀新人賞に

2018年11月13日、プロ野球日本ハムからアメリカ大リーグエンゼルスに入団した大谷翔平選手が、全米野球記者協会による最優秀

新人賞「ルーキー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。新人賞の受賞は、日本人では2001年のイチロー選手以来17年ぶりであり、投打二刀流の選手では史上初であった。

豊洲市場へ移転

「日本の台所」と呼ばれてきた築地市場が2018年10月6日にその役目を終えて、同月11日に豊洲市場が開場した。築地市場は1935年に開場したが、手狭になったことやトラック輸送への対応が難しいことから、1970年代から移転を検討していた。市場関係者の反対によって移転は実現せずだったが、2001年に豊洲への移転が決定した。豊洲市場の施設は2016年5月に完成し、同年11月に移設し開業することを予定していたが、土壌汚染対策が十分でないことなどから、移転は延期され2018年10月に移転が実現した。

本庶佑氏ノーベル賞受賞

2018年のノーベル賞が同年10月に発表され、京都大学の本庶佑特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞した。本庶氏はがん免疫治療薬の発展に貢献し、免疫を抑制する働きを持つ分子「PD-1」を発見した。この研究をもとに新しいがん治療薬である「オプジーボ」が開発された。

各賞の受賞者は下の通り(敬称略)。

- ・医学生理学賞：本庶佑，ジェームズ・アリソン
- ・物理学賞：アーサー・アシュキン，ジェラルド・ムル，ドナ・ストリックランド
- ・化学賞：フランシス・アーノルド，ジョージ・スミス，グレゴリー・ウィンター
- ・平和賞：デニス・ムクウェゲ，ナディア・ムラド・バセ・タハ
- ・経済学賞：ウィリアム・ノードハウス，ポール・ローマー

日米首脳会談

2018年9月26日に、安倍晋三内閣総理大臣は米国を訪問し、ドナルド・トランプ大統領と日米首脳会談を行った。会談では、北朝鮮問題に関し今後の方針を話し合い、国連安保理決議を履行するという目標を確認した。また、日米の貿易を安定的に拡大するために、「日米物品貿易協定」について交渉を開始することに合意した。

台風24号が広範囲に被害

2018年9月21日に、台風24号がマリアナ諸島で発生した。

29日に沖縄付近を非常に強い勢力で通過し、30日に勢力を保ったまま和歌山県に上陸した。その後、近畿から東北を通り、北海道東部の沖合へと進み、10月1日に温帯低気圧に変わった。台風により、全国的に記録的な暴風となった。大規模な停電が起きたり、首都圏では倒木により鉄道の運転見合わせが起きたりするなど多くの被害をもたらした。

北海道胆振地震

2018年9月6日に、北海道胆振地方地震が起こった。震源は北海道胆振地方中東部で、厚真町で最大震度7を観測した。北海道で統計上震度7を観測した初めての地震であった。死者44人、負傷者726人と甚大な人的被害を引き起こした。また、厚真町では大規模な土砂崩れが発生し、多くの住宅が巻き込まれたり、住宅479棟が全壊したりするなど、家屋への被害も大きいものであった。厚真町の火力発電所で火災が発生したことにより、北海道全域で約295万戸が停電。その後1週間ほどの計画停電も行われた。

台風21号の上陸ともたらした被害

2018年8月28日に、台風21号が南鳥島近海で発生。マリアナ諸国付近で一時猛烈な勢力になったのち、9月4日に非常に強い勢力を保ったまま徳島県に上陸し、その後兵庫県に再上陸した。日本海に抜け、5日に間宮海峡で温帯低気圧へと変わった。非常に強い勢力で台風が日本に上陸するのは、25年ぶりであった。台風の接近や上陸に伴って、近畿や四国の沿岸部では、記録的な高潮となり、関西空港の滑走路などが広い範囲で浸水するなどの被害が出た。また、四国や近畿を中心に記録的な暴風となり、大阪府泉南郡田尻町では、最大瞬間風速58.1メートルを記録した。暴風の影響により、建物の屋根が飛ばされる、トラックが横転するなど各地に被害をもたらした。